

## 令和2年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（深島・屋形島）

## 1. 集落協定の概要

都道府県名：大分県

市町村名：佐伯市

島名：深島・屋形島

協定締結集落名：深島・屋形島漁業集落

交付金額：1,674千円

(1) 基本交付金：1,674千円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0千円

協定参加世帯数：8世帯、15人（うち漁業世帯8世帯、15人）

都道府県の都市部の勤労者世帯の有業者一人当りの平均勤め先収入(直近3年平均) 3,588,695円

集落の平均漁業者所得 931,294円（令和元年）

## 2. 協定締結の経緯

大分県の南東端に位置する佐伯市深島・屋形島周辺の海域は、起伏の多い天然礁や、大小無数の岩礁が形成されており、海流は瀬戸内海の低温水と黒潮から流入する高温水とが混合流となることにより栄養豊富な海域となっている。地元漁業者は、このような良好な自然環境に恵まれた漁場を利用して、巻き網漁業、一本釣り漁業、刺し網、緋扇貝・イワガキ養殖などを営んでいる。しかしながら漁業が基幹産業である本地区においても、漁業者の減少や高齢化、水産資源の減少などにより漁獲量は減少傾向にある。このまま放置すれば本地区の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も低下する可能性がある。

このため、本地区における漁業を維持・再生させていくことが重要であり、漁場の再生に関する集落での話し合いを通じて、漁場の生産力の向上に関する取り組みや、漁場の再生に向けた新たな取り組みを実践的に取り組める環境を整えるため、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動を実施することとした。

## 3. 取組の内容

## ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

○人工産卵礁の設置と効果調査を行うことにより、資源の増殖を図った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
産卵場・育成場の整備	人工産卵礁設置 (雑木)	8月24日	11人	80,837
	人工産卵礁設置 (雑木)	8月28日	4人	35,000
	人工産卵礁効果調査 (雑木・貝藻くん)	3月11日	4人	510,255
	人工産卵礁効果調査 (貝藻くん)	3月18日	10人	803,333

## ②漁業の再生に関する実践的な取組の実施

○新規漁業の着業に向け、養殖試験設備の設置作業、海藻類の種苗の設置を行った。

活動内容		実施日	参加人数	経費（円）
新規漁業の着業	海ブドウ養殖試験	5月18日～3月31日	-	140,219

## 4. 取組の成果

### ①産卵場・育成場の整備

アオリイカの産卵床を設置することで、アオリイカの資源増大を期待している。



人工産卵床の設置  
(R2. 8. 24)



人工産卵床の設置 (R2. 8. 28)



人工産卵床の設置  
(R3. 3. 11)



人工産卵床の設置  
(R3. 3. 18)

### ④漁業の再生に関する実践的な取組状況

海ぶどうの試験養殖を行うことで、新規漁業の着業を目指した。



海ぶどう試験養殖 (R2.8.28)